

インフルエンザ予防接種説明書

(予防接種を受ける前に必ずお読みください)

この予防接種は、義務ではありません。
予防接種を希望する方が対象となります。

インフルエンザとは？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによっておこります。インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみなどをする事により、ウイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。

症状としては、普通のかぜに比べて全身症状が強く気管支炎や肺炎などを合併し、特に高齢者や慢性疾患患者は重症化することが多いのが特徴です。

予防接種の効果は？

流行前に予防接種を受けることは、世界的にも認められている最も有効な予防法です。予防接種を受けた人の70～80%はインフルエンザにかからないか、かかっても症状が軽いという有効性が証明されています。

なお、予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、効果の持続期間は5ヶ月間とされていますので、毎年流行する前の早い時期に接種することをおすすめします。

接種回数は1回で0.5mlの皮下注射を行います。

予防接種を受けることができない人

- ★ 明らかに発熱のある人
- ★ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ★ インフルエンザワクチンの成分によって、じんましん、呼吸困難、血管浮腫等を起こしたことが明らかな人

その他、医師が不適切な状態と判断した場合

予防接種を受ける際に、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ★ 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液疾患、その他慢性の病気で治療を受けている人
- ★ 以前にインフルエンザの予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを思わす異常がみられた人
- ★ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ★ 免疫不全の診断を受けている人
- ★ インフルエンザワクチンの成分に対して、アレルギーがあるといわれた事がある人